

学校だより

つよく あかるく すなおに

学校教育目標

学ぶことを楽しみ、次の学びに意欲がもてる子どもを育てる

第10号

北海道教育大学附属特別支援学校 令和3年1月22日（金）発行

対話を通して、新たな学びを育む

高等部主事 土屋 和彦

2021年が始まりました。新しい年になって多くの皆様が、新たな挑戦や取り組みを考えているのではないのでしょうか。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、高等部の授業や行事も多くの変更があり、学校の新しい生活様式を踏まえ感染リスク対策を盛り込んだ学習を行ってきました。その大きく変わった学習活動の一つに製品販売会があります。

例年は、文化祭の際に販売会を実施しておりましたが、残念ながら文化祭が中止になり計画した販売会が実施できませんでした。しかし、北海道教育大学函館校の協力を得て、11月に大学を会場としてZoomを活用したリモート販売会を実施することができました。

このリモート販売会では、生徒がグループに分かれて様々な準備を行いました。具体的には、3密対策のアイデアを出して販売会全体の企画を考えたり、販売会のCMやポスターを制作したり、購入者への製品アンケートを作成したりしました。例年とは異なる販売会で、生徒も教師も様々なやり取りや試行錯誤を経ての実施となりました。結果、1時間の販売会でしたが、30名を超える学生の皆さんや大学職員の方々が来場し、好評のうちに無事販売会を終了することができました。2月には本校体育館などを会場として、保護者向けの販売会も企画しております。

このリモート販売会の名称は、「Paulownia buds(ポロウニアバズ)」と言い、生徒が決めました。「Paulownia Buds」とは英語で、日本語に訳すと「きりのめ」です。本校のシンボルは「桐の木」であり、生活訓練棟の名称も「きりのめの家」となっていて、生徒をはじめ本校の関係者には大変身近に感じられる名称です。この販売会の名称を決めるとき、意見が二つに分かれました。一つは日本語の「きりのめ」で、もう一つが英語の「Paulownia buds」でした。当初の意見は、分かりやすく親しみやすいので「きりのめ」という意見が多かったのですが、話し合いを通して、英語の「Paulownia Buds」の方が、「何だろう？」と気になるし、新しい形の販売会なので今までとは異なるイメージの方がいいという意見が出ました。自分の意見を主張したり、友達の意見に納得したり、納得しなかったり等を経て、最終的には、グループ全員で「Paulownia Buds」と決定しました。全員が納得して販売会名を決めることができたことで、この販売会が自分たちの販売会となり、更に多くの意見が発表されるようになりました。話し合いを通して生徒一人ひとりの中で様々な学びや新しい気づきが生まれ、主体性が育まれたように思います。

「主体的・対話的で深い学び」は特別な授業ではありません。今年も高等部として、日々の指導を見直し、対話を通して新たな学びを育む授業を目指していきたいと思っております。



リモートで接客する生徒たち



大学の販売会場の様子

【授業参観についてのお知らせ】

3学期の授業参観は、感染症拡大の防止のため、中止いたします。保護者の皆様に、児童生徒の学習の様子を少しでも見ていただけるように、ホームページを活用して配信してまいります。後日、詳細をお知らせいたします。

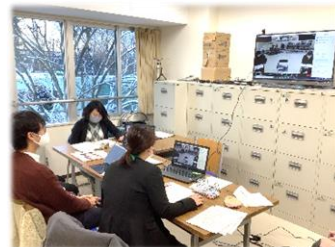
現職教員研修会について

地域支援部長 笠井 純

12月10日(木)、14日(月)、16日(水)の3日間、渡島管内の小・中学校、特別支援学校および全道の研究協力校の教職員を対象に「現職教員研修会」を実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から、会議アプリ Zoom を使ったオンライン研修としました。研修では、本校の授業 VTR を視聴し、授業改善に向けてチーム・ティーチングによる指導・支援について検討しました。小学部2組の「制作活動」は「自分のピタゴラボードを飾ろう」というテーマで、折り紙やシールを貼ってオリジナルのピタゴラボードを作って楽しく遊ぶといった活動でした。中学部の「チャレンジ学習」Bグループは順序数の学習をすることと友達とゲームを楽しむことを目的にオリジナルのすごろくに取り組み、Dグループは他者の気持ちを想像し、それに応じた言動を考える学習活動でした。高等部2年生の「附特タイム」では、様々な場面での自分の気持ちについて振り返り、気持ちが落ち着かないときの対処方法を考える学習活動が展開されました。

定員9名のところ、12名(函館市内の小中学校教諭2名、渡島管内の中学校教諭1名、北海道立の特別支援学校教諭9名)の参加がありました。特別支援学校教諭は日常のチーム・ティーチングにおいて、小学校教諭と中学校教諭は通常学級と特別支援学級との交流及び共同学習の際に行う教科担任とのチーム・ティーチングにおいて、それぞれ共通理解を図ること(指導・支援の意図を伝えたり読み取ったりすることなど)に課題を感じていました。学校種による職場の実態の違いはあるものの、参加者からは「チーム・ティーチングにおける指導・支援の観点という客観的な指標を用いることで、指導者の役割分担が明確になり、共通理解が図られる」といった感想が述べられました。また、参加者12名中11名が教職経験年数2年未満の教諭であり、日頃の授業実践において工夫していることや疑問、悩みなどに共感しながら活発な意見交流がなされました。本校職員にとっては、日頃当たり前のように行っているチーム・ティーチングについての理論を学び、共通理解を図る機会になりました。対面や集合形式による研修の機会が減る現状ではありますが、現場には児童生徒の学びを保障するため、各学校でさまざまな取り組みをしながら、日々の授業づくりに奮闘している先生たちがいます。そのような先生たちに学びの機会を提供するとともに日々の実践の力になればと願い、コロナ禍にあっても実現できる形での研修を企画しました。今後は研修で学んだことを各所属校で実践しての所感をお聞きし、研修の成果と課題について分析して次年度以降の計画を立てる予定です。

現場において教師が抱えるニーズに応える実践的な研修は、地域の学校における児童生徒への支援の充実につながります。本校が担う「地域における特別支援教育のセンター的機能」の1つとして、今後も地域の先生方と本校職員とが共に学び合う研修を企画していきたいと考えております。



【女性センターから嬉しいプレゼント】

女性センターの皆様より、昨年に引き続き『サンタリボン』のプレゼントをいただきました。『サンタリボン』は、地域の方のお宅にある未使用の文房具などを寄贈してもらい、必要とする場所に届ける企画です。子どもたちのために大切に使用させていただきます。



2月の行事予定



日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1日	月	高等部製品販売会 PTA研修部学習会(9:00~10:00)	17日	水	全校朝会、PTA常任委員会
2日	火	体重体脂肪腹囲測定(小)	18日	木	入学者説明会
3日	水	体重体脂肪腹囲測定(中)	23日	火	天皇誕生日
4日	木	体重体脂肪腹囲測定(高)	25日	木	集会活動Ⅱ
11日	木	建国記念の日	「学部・学級懇談会」は感染症拡大防止のため、中止いたします。ご了承ください。		
15日	月	支援ミーティング週間(～2/26) 6時間放課(～3/23)			